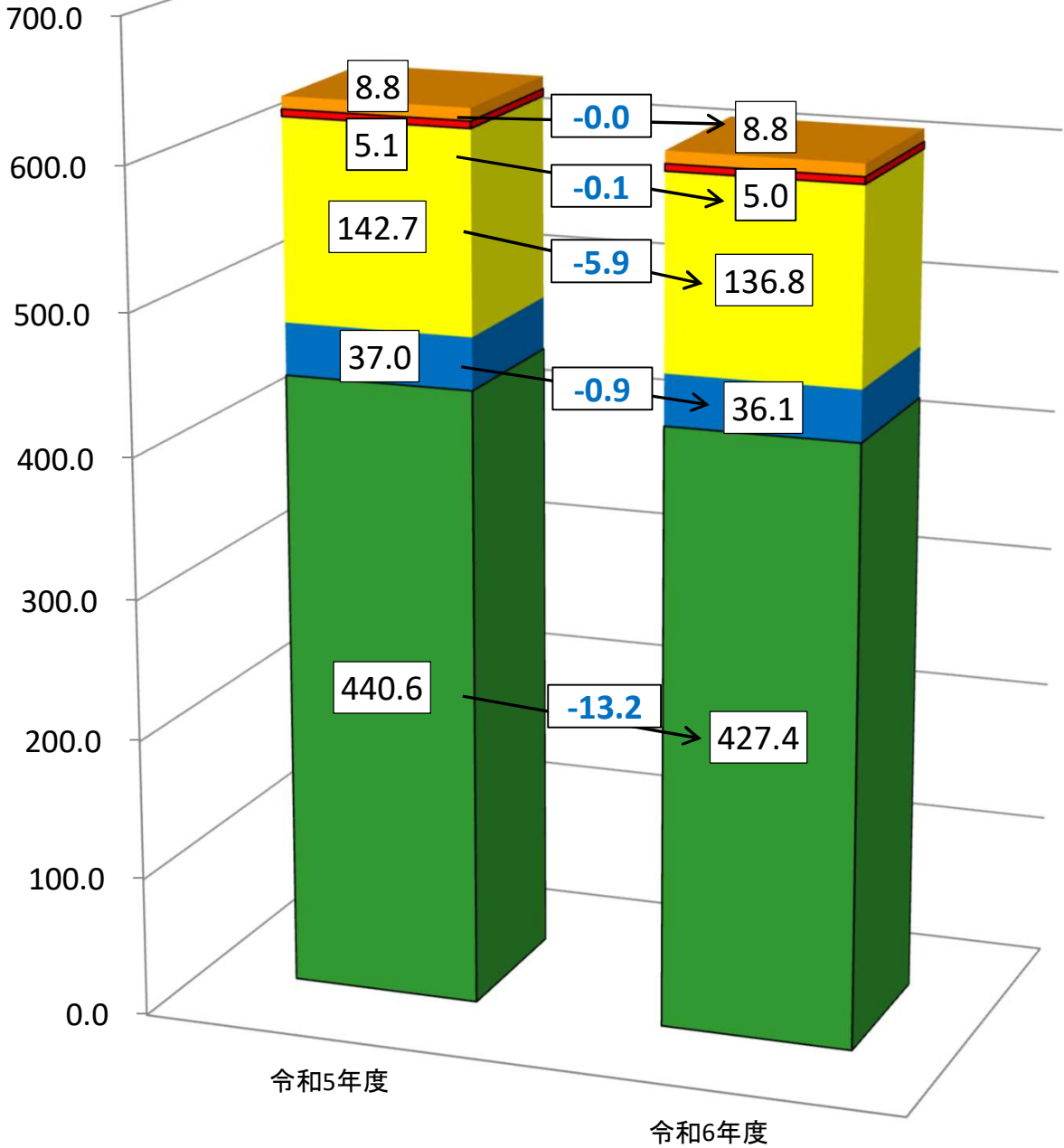
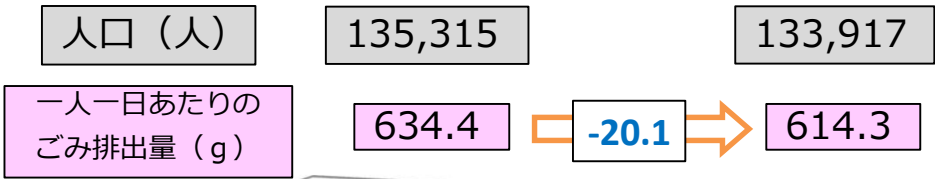


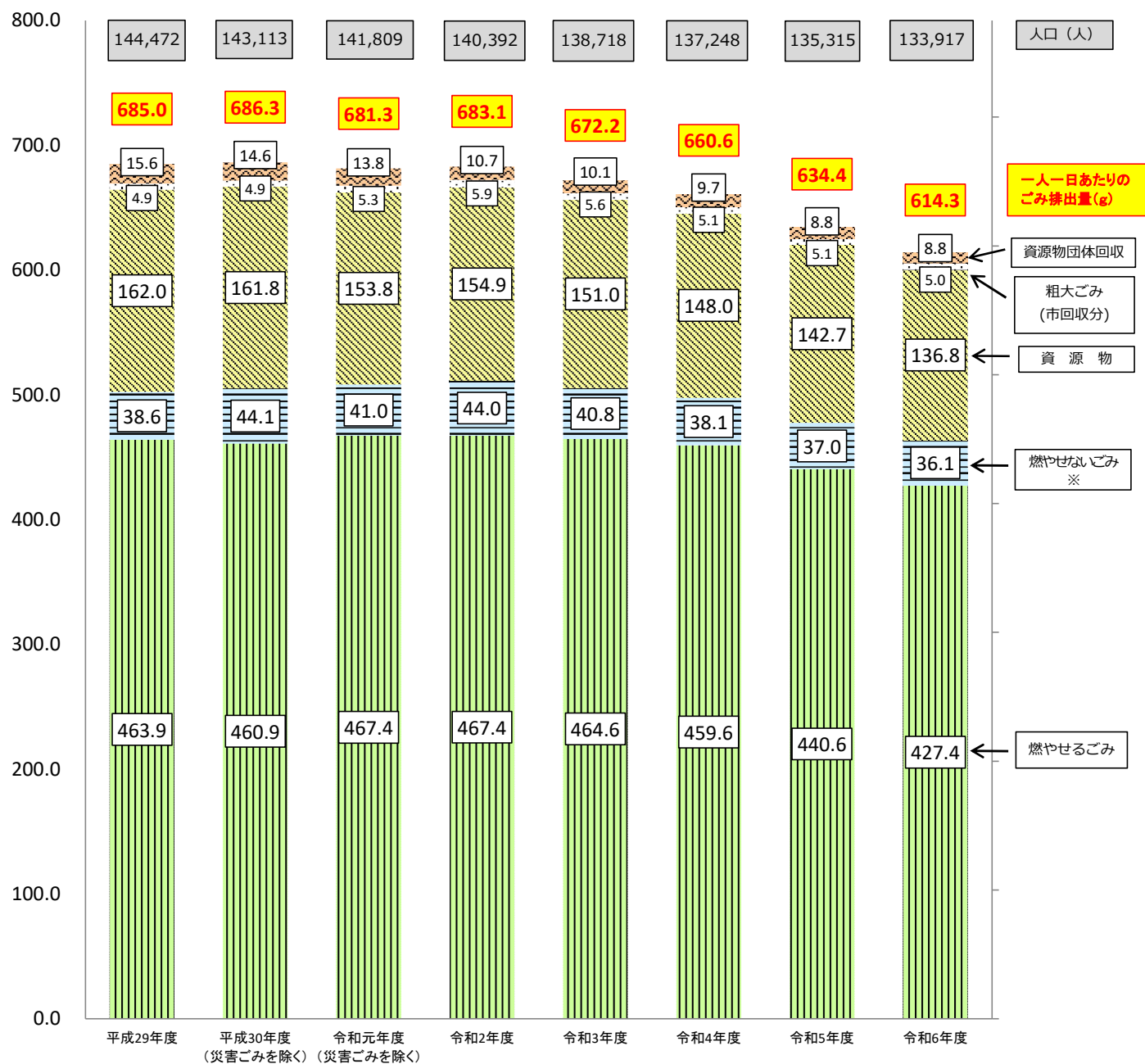
家庭ごみ一人一日あたりのごみ排出量(g/人/日)



■ 燃やせるごみ ■ 燃やせないごみ※ ■ 資源物 ■ 粗大ごみ（戸別収集分） ■ 資源物団体回収

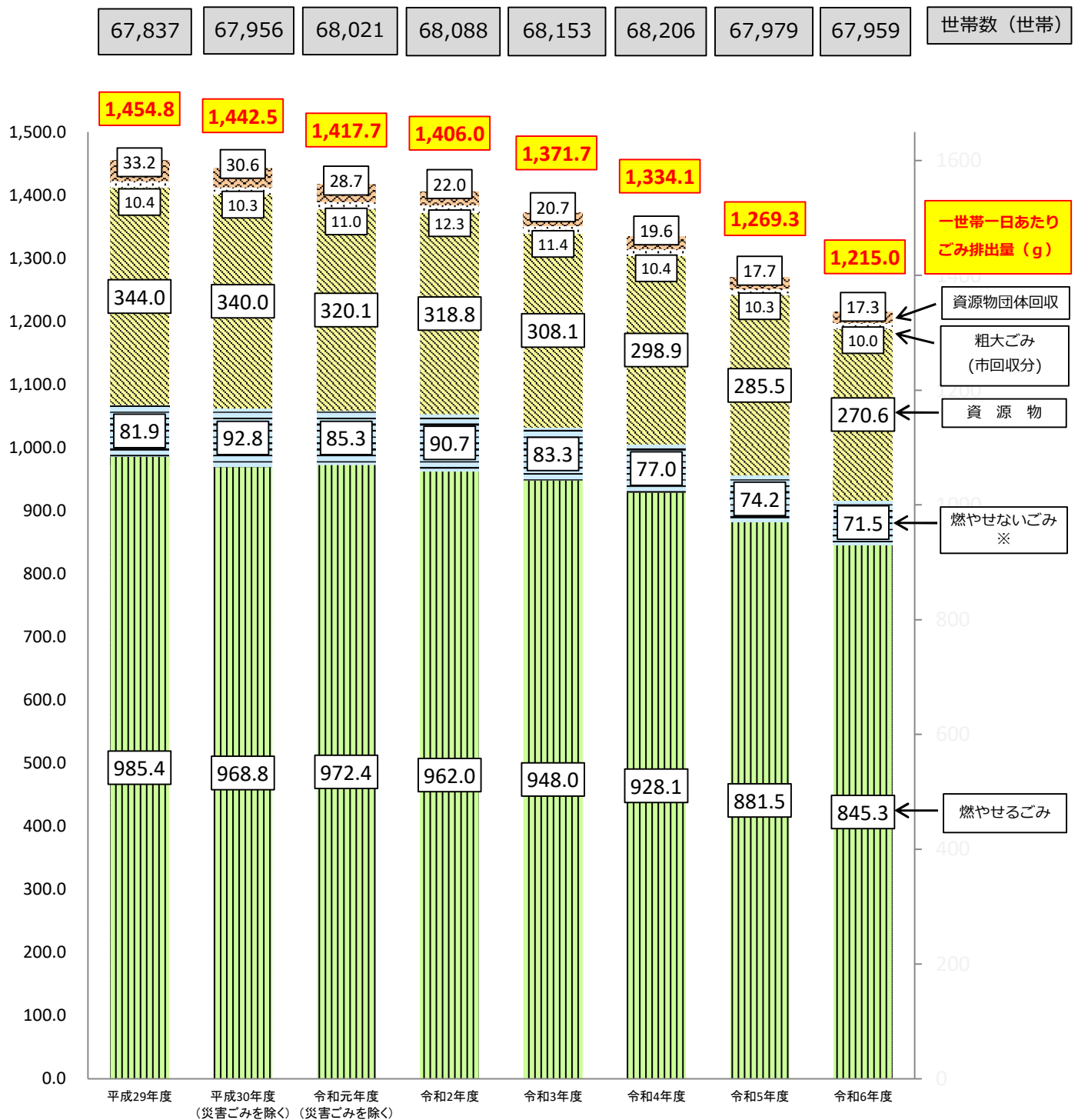
※ 燃やせないごみには、処理困難物、粗大ごみ（自己搬入分）を含む。

家庭ごみの一人一日あたりごみ排出量（g/人/日）



※ 燃やせないごみには、処理困難物、粗大ごみ（自己搬入分）を含む。

家庭ごみ一世帯一日あたりのごみ排出量（g/世帯/日）



※ 燃やせないごみには、処理困難物、粗大ごみ（自己搬入分）を含む。

周南市のリサイクル状況

単位:t

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 (災害ごみ除く)	R1(H31)年度 (災害ごみ除く)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
リサイクル率(%)		32.6	32.0	31.3	31.0	30.9	31.4	30.2	30.6	30.3	28.8
ごみ排出量(家電4品目を含む)		49,182	47,988	48,134	47,867	47,357	46,078	45,218	44,265	42,230	40,518
再資源化量 (主なリサイクル方法等【手法】)		16,043	15,334	15,047	14,828	14,622	14,468	13,638	13,556	12,781	11,683
古紙	紙の原料【マテリアル】 (雑誌、印刷用紙、ティッシュペーパー等)	3,587	3,319	3,080	3,017	2,765	2,695	2,591	2,466	2,282	2,093
金属(缶を含む)	金属原料【マテリアル】	1,152	1,165	1,137	1,056	1,069	1,187	1,116	1,013	954	887
びん	ガラス瓶の原料、断熱材、路盤材等【マテリアル】	1,086	1,014	959	913	816	842	785	798	745	719
ペットボトル	繊維製品、ボトル製品等【マテリアル】	270	301	331	344	335	335	350	350	361	372
衣類	古着、ウェス【マテリアル】	403	375	346	350	320	311	299	282	261	228
プラスチック等	プラスチック原料【マテリアル】 セメント原燃料化【サーマル】 コークス炉化学原料【ケミカル】	3,959	4,082	3,919	3,936	3,802	3,886	3,683	3,494	3,334	3,258
乾電池、蛍光灯等	アルミ、ガラス、金属などの原料【マテリアル】	74	70	61	58	73	98	74	78	81	78
家電4品目	H27以前は計上 H28～R1は未計上 R2年度以降は計上	7	6	5	5	9	9	7	7	10	7
小型家電リサイクル		6	5	5	7	12	20	17	17	19	18
廃乾電池・蛍光管		61	65	56	51	61	69	50	54	52	53
セメント原料化	焼却灰のセメント原料化【マテリアル】	2,585	2,509	2,518	2,391	2,274	2,226	2,153	2,124	2,013	1,964
発電寄与量	焼却施設での余熱利用【サーマル】	2,004	1,675	1,873	2,002	2,453	2,340	2,074	2,464	2,314	1,656
固形燃料化	固形燃料化【マテリアル】	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0
団体回収	【マテリアル】	833	824	823	761	715	548	513	487	436	428
その他(焼却、埋立、年度内未処理分)		33,139	32,654	33,087	33,039	32,735	31,610	31,580	30,709	29,449	28,835

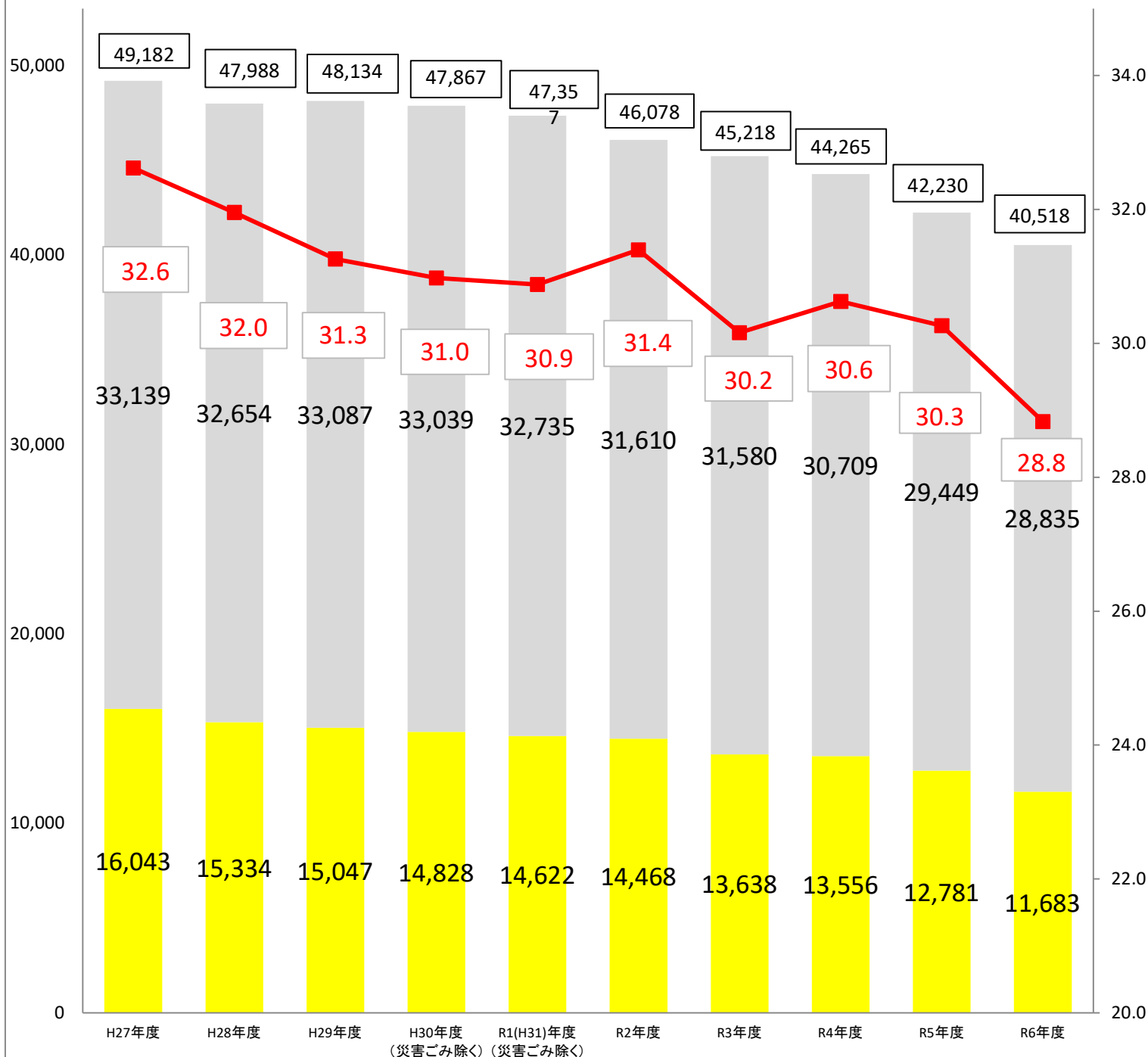
注) リサイクル率=再資源化量÷ごみ排出量×100

※リサイクル手法について

区分	説 明
マテリアルリサイクル	原料として再利用すること。「材料リサイクル」ともいう。
ケミカルリサイクル	化学反応により組成変換した後にリサイクルすること。主に廃プラスチックの油化・ガス化・コークス炉化学原料化などがある。
サーマルリサイクル	焼却の際に発生するエネルギーを回収・利用すること。

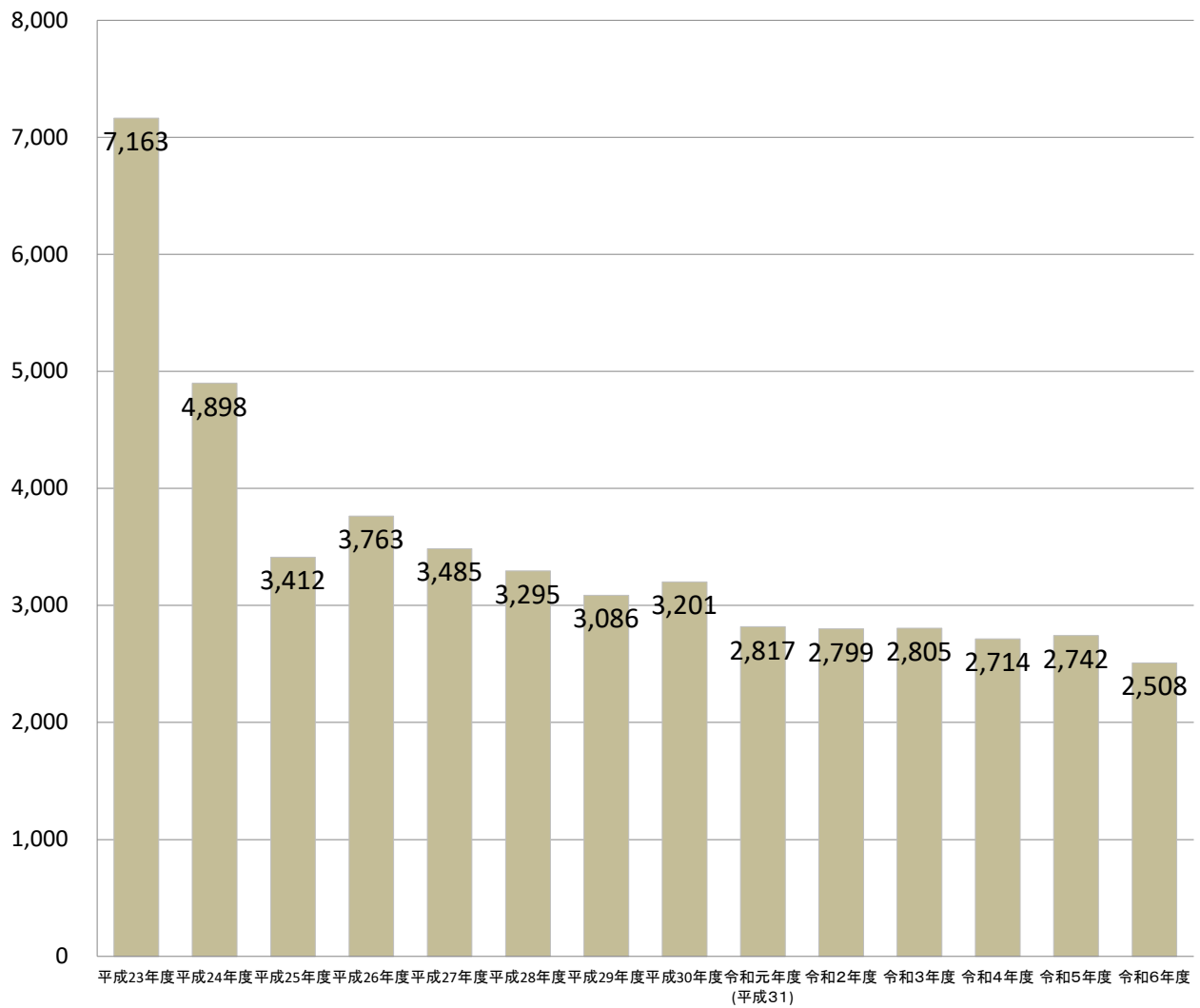
ごみ排出量と再資源化量の推移(t)

■再資源化量 ■その他(焼却、埋立、年度内未処理分) ■リサイクル率(%)



※再資源化量には、ごみを焼却した熱で発電したものを含まず。

最終処分量(埋立量)の推移(t)



年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
最終処分量(t)	7,163	4,898	3,412	3,763	3,485	3,295	3,086	3,201	2,817	2,799	2,805	2,714	2,742	2,508
戸田	7,044	4,773	3,330	2,360	637	299	526	1,146						
鹿野	119	125	82	65	51	48	50	135	62	67	57	52	50	37
N7				1,338	2,797	2,948	2,510	1,920	2,755	2,732	2,748	2,662	2,692	2,471

ごみ処理経費

年度	歳出 ※（注1）	歳入 ※（注2）	市民一人あたり
令和2年度	約23億2千万円	約1億9千5百万円	15,100円
令和3年度	約23億5千万円	約2億2千万円	15,300円
令和4年度	約24億円	約2億5千万円	15,600円
令和5年度	約25億5千万円	約2億3千万円	17,100円
令和6年度	約27億4千万円	約2億4千万円	18,600円

（注1）歳出は、施設整備費等に係る経費を除く収集運搬、中間処理、最終処分の直接処理費（施設維持管理費を含む）及びその他啓発等に係る経費の合計です。

収集運搬費…約8億8千万円、中間処理費…約14億4千万円、最終処分費…約4千万、その他…約3億7千万円

（注2）歳入は、資源物（金属類、ペットボトル等）やごみ袋の売払額等です。

資源物売払収入約1億円、ごみ袋売払収入約1億円

